

<児童・生徒の保護者の皆様へ>

令和2年度以降の給食用牛乳紙パックのリサイクル対応について

日頃より、学校給食へのご理解をいただきありがとうございます。

給食用牛乳パックついて、これまでもごみの減量の観点からリサイクルを推進してまいりましたが、令和2年4月より処理方法等が変わります。

現状の処理方法

飲用後の牛乳紙パックは各自が折り畳み、班ごとに1つにまとめ、洗浄等はしないまま、牛乳の配送事業者が回収し、牛乳メーカーが一括して洗浄を行い、リサイクル専門業者に引き渡しています。

令和2年4月からの処理方法

東京都の指導により、令和2年4月からはリサイクルを行う場合、飲用後の牛乳紙パックを児童・生徒が各自で開き、洗浄し、乾燥させた上で牛乳の配送業者が回収し、リサイクル専門業者に引き渡すこととなります。

■リサイクル対応に向けた各校の取組

埼玉県や神奈川県などでは、10年以上の実績のある自治体が複数あります。既に3市を視察し、ノウハウの確認に努めているところです。

また、市内の小中各1校をモデル校に指定し、視察結果を参考に手開き・洗浄・乾燥などを試行しており、実証結果は市内各校に伝達し適切に準備を進めています。

なお、この度の臨時休業に伴い、3月に予定していた各校での試行を4月以降に一定期間設け実施する予定です。

■アレルギー対応について

現状、牛乳がアレルギーでアレルギー対応をお申し出中の児童・生徒の保護者におかれましては、必ずこの件に対する各校の対応をご確認の上、改めて面談等を行っていただく予定です。ご不明な点は各校までお問い合わせください。

紙パックのリサイクルは、ごみの減量、及びCO₂の削減対策の観点からも必要な取組と考えています。

今後毎日継続されるリサイクル化の取組みに対して、お子様を励ましていただけますようお願いいたします。また、ご家庭におかれましても、地球環境の保護について話題にするきっかけになると幸いです。